

研究課題 (テーマ)		ダ・ヴィンチ祭 富山県立大学 コロナ禍における DX 時代を見据えた開催手法の検討	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者			
本吉達郎	知能ロボット工学科	准教授	ダ・ヴィンチ祭実行委員会
研究結果の概要			
<p>県大の知の拠点としての役割を果たすべく、2020年度はやむなく中止の判断をした富山県立大学ダ・ヴィンチ祭を COVID-19 の感染防止策を徹底したうえで 2021年8月7日に開催した。従来どおりの実施が困難なコンテンツに替えて、DX 時代を見据えた新たな企画を募集するとともにその支援を行った。</p> <p>会場の感染防止対策として来場者の体温チェック、手指消毒設備を設置したほか、会場内の動線を限定し来場者が同一場所に集中しないように会場案内図等を充実させた。参加者の滞在時間の短縮し、キャンパス内に食事設備を設置しないこととしたため、実施時間帯は 12:30-15:45 とした。</p> <p>対面企画は完全予約制の「こども科学製作教室」のみとし、運営側が把握できない参加者が発生することを防止した。結果、9つの「こども科学製作教室」を企画し、1165名の募集申込みがあった。学内の出展協力者数は39名であった。参加者の抽選を行なった結果、当日85名（付添者103名）に来場いただいた。感染拡大による県の対策ステージ引き上げが検討されている状況ではあったが、参加人数を限定することで参加者のスペースを十分に確保し、感染対策への不安や不備に関する意見はなかった。参加後に実施したアンケートでは、回答者（33名）のうち90%以上から企画が「楽しかった」との回答が得られた。</p> <p>このほか、従来、予約制を採らない対面企画にも多数の参加者があったため、対面企画の他にオンライン企画を募集し、期間限定ながら YouTube 上でコンテンツを公開した。新たに設けたオンライン企画に対しては、16の応募があり、7月1日から順次コンテンツを公開した。8月末までの期間中、のべ1853回の視聴があった。オンライン企画に関するアンケートへの回答数が10名に満たなかったが、回答者の7割以上から企画内容に対して「満足」との回答が得られた。</p> <p>今後の参加状況の把握や予約状況の管理の効率化を見据えて、アンケートや予約システムのオンライン化について検討し、アンケートは対面企画参加者を含めてオンラインで実施した。</p>			
今後の展開			
<p>多くの方にアンケートでのご意見をいただくためにも、オンライン方式と用紙配布方式での回答率を比較し、適切な実施方法や周知方法を検討する。オンライン予約システムの詳細についても、従来コンテンツの再開、およびそれに伴う参加者増加に対応できるように詳細な検討を進める。</p>			